



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2501 URL <https://www.sapporoholdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾賀 真城
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小松 達也 TEL 03-5423-7407
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	199,706	△0.1	△3,461	—	19,102	—	12,279	—	12,341	—	15,600	—
2020年12月期第2四半期	199,983	△12.4	△5,082	—	△9,398	—	△6,564	—	△6,429	—	△14,627	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	158.42	153.49
2020年12月期第2四半期	△82.53	△82.53

(参考) 税引前四半期利益 2021年12月期第2四半期 19,052百万円 2020年12月期第2四半期 △9,929百万円

※事業利益とは、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	580,907	161,853	161,127	27.7
2020年12月期	616,349	149,551	149,781	24.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	447,200	2.9	6,700	57.2	18,000	—	12,000	—	12,000	—	154.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	78,794,298株	2020年12月期	78,794,298株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	895,574株	2020年12月期	896,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	77,897,957株	2020年12月期2Q	77,897,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（期中営業活動の季節性について）

当社グループの業績は、酒類事業、食品飲料事業の需要に大きな季節変動があります。このため、第2四半期連結累計期間に含まれる第1四半期連結会計期間においては、売上収益が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(事業セグメント)	13

○第2四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～6月30日)において、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大による度重なる緊急事態宣言の発出及びまん延防止等重点措置による酒類提供制限等の影響を受け、主に業務用ビール売上、ビヤホール等の外食店舗売上が、前年同期から減少となりました。

一方で、コスト構造改革等による費用の減少により、事業損失は前年同期から改善しました。また、投資不動産の売却等により、営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期から増益となりました。

① 全般的概況

第2四半期 連結累計期間	売上収益	事業利益(※)	営業利益	親会社の所有者に帰属 する四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年	199,706	△3,461	19,102	12,341
2020年	199,983	△5,082	△9,398	△6,429
増減率(%)	△0.1	—	—	—

※事業利益(損失)は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

② 報告セグメント別の概況

第2四半期 連結累計期間	売上収益(百万円)			事業利益(百万円)			営業利益(百万円)		
	2020年	2021年	増減率 (%)	2020年	2021年	増減率 (%)	2020年	2021年	増減率 (%)
酒類事業	130,375	130,548	0.1	△3,794	△2,940	—	△7,771	△2,777	—
食品飲料事業	58,059	57,957	△0.2	△2,621	△1,122	—	△2,896	△964	—
不動産事業	11,469	11,116	△3.1	4,618	3,791	△17.9	4,262	26,027	510.7

[季節性要因による影響について]

当社グループの業績は、酒類事業、食品飲料事業の需要に大きな季節変動があります。このため、第2四半期連結累計期間に含まれる第1四半期連結会計期間においては、売上収益が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

〔酒類事業〕

(国内酒類)

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き甚大な影響を受け、国内におけるビール類総需要は、前年同期比94%程度に留まったと推定されます。

そのような中、ビールでは、業務用ビールの売上数量が減少しましたが、主力の「サッポロ生ビール黒ラベル」や「エビスブランド」の缶製品は好調で、売上数量はそれぞれ前年同期比113%、105%となりました。新ジャンルでは、発売1周年を迎えた「サッポロ GOLD STAR」が引き続き好評で、売上数量は前年同期比110%となりました。以上の結果、ビール類合計の売上数量は前年同期比95%となりました。

RTD(※1)では、3月に発売した缶の新商品「サッポロ 濃いめのレモンサワー」が好評で、コラボRTDの軸商品である「男梅サワー」も順調に推移し、売上収益は前年同期を大幅に上回りました。

和酒では、甲乙混和芋焼酎売上No.1(※2)の「こくいも」、「濃いめのレモンサワーの素」が引き続き好調に推移し、売上収益は前年同期を上回りました。

(海外酒類)

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き影響を受けましたが、北米におけるビール類総需要は、カナダは前年同期を下回ったものの、アメリカは回復傾向にあると推定されます。

そのような中、海外ブランドビールでは、家庭用比率の高いスリーマン社が牽引し、売上数量は前年同期並みとなりました。

サッポロブランドビールでは、米国のレストランの営業制限解除に伴い業務用市場が回復し、売上数量は前年同期を上回りました。

(外食)

新型コロナウイルス感染症の影響により、パブレストラン・居酒屋業界全体が前年から引き続き甚大な影響を受けています。当社の外食事業においても、酒類提供制限の期間は多くの店舗で休業・営業時間の短縮となる状況が続きました。

そのような中、食事メニューやテイクアウト・デリバリー商品の強化、不採算店舗の閉鎖・低コスト低オペレーション業態へのシフト等に取り組みましたが、前年同期と比較して減収減益となりました。

以上の結果、酒類事業の売上収益は1,305億円（前年同期比2億円、0%増）となり、事業損失は29億円（前年同期は38億円の損失）、営業損失は28億円（前年同期は78億円の損失）となりました。

※1 RTD：Ready To Drinkの略。購入後そのまま飲める、缶チューハイ等のアルコール飲料

※2 インタージェSRI甲乙混和芋焼酎市場2019年10月～2021年6月累計販売金額全国SM/CVS/酒DSの合計

[食品飲料事業]

新型コロナウイルス感染症による影響が前年よりも小さかったことや、新商品の発売等により、国内における飲料総需要は、前年同期比101%と推定されます。

そのような中、国内飲料では、健康意識の高まりを背景に「キレートレモン」等のレモン飲料が好調に推移し、飲料合計の売上数量は前年同期並みとなりました。

国内食品では、スープが前年の巣ごもり需要の反動等を受け、売上数量は前年同期を下回りましたが、注力している冷製缶スープの売上数量は前年同期比124%で推移しています。

レモン食品では、前年度過去最高出荷であった「ポッカレモン」が用途の広がりでも伸長し、レモン食品の売上数量は前年同期比111%と大きく上回りました。プランツミルクでは、健康志向の高まりにより、豆乳ヨーグルトが貢献し売上数量は前年同期を上回りました。

カフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」を展開するポッカクリエイト社は、カフェ業界が前年から新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、売上収益は前年同期を上回りました。

以上の結果、食品飲料事業の売上収益は580億円（前年同期比1億円、0%減）となり、事業損失は11億円（前年同期は26億円の損失）、営業損失は10億円（前年同期は29億円の損失）となりました。

[不動産事業]

首都圏のオフィス賃貸市場では、稼働率及び平均賃料水準は下降トレンドにあります。

そのような中、不動産事業では、収益の柱である「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ首都圏を中心に保有する物件において一部のテナントが退去し、稼働率は一時的に低下しましたが、新規入居の動きも始まっております。商業施設では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上収益が減少しましたが、恵比寿ガーデンプレイスでは商業棟リニューアルオープンの準備が順調に進んでいます。また「恵比寿ファーストスクエア」等の売却、「Sreed EBISU +t」の新築工事を着工しました。

以上の結果、不動産事業の売上収益は111億円（前年同期比4億円、3%減）、事業利益は38億円（前年同期比8億円、18%減）、営業利益は260億円（前年同期比218億円、511%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、棚卸資産、有形固定資産等が増加した一方、営業債権及びその他の債権、未収法人所得税、投資不動産の減少等によって、前連結会計年度末と比較して354億円減少し、5,809億円となりました。

負債は、未払法人所得税の増加等があった一方、社債及び借入金（流動）、その他の流動負債、社債及び借入金（非流動）の減少等によって、前連結会計年度末と比較して477億円減少し、4,191億円となりました。

資本は、期末配当の実施があった一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上、その他の資本の構成要素が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して123億円増加し、1,619億円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ71億円（36%）減少し、126億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、128億円（前年同期比85億円、197%増）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形資産除売却損益230億円、未払酒税の減少額111億円の減少要因があった一方、税引前四半期利益191億円、営業債権及びその他の債権の減少額156億円、減価償却費及び償却費114億円による増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、226億円（前年同期は118億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出53億円、投資不動産の取得による支出41億円があった一方、投資不動産の売却による収入339億円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、438億円（前年同期は155億円の収入）となりました。これは主に、長期借入による収入40億円があった一方、社債の償還による支出300億円、コマーシャル・ペーパーの減少額60億円、長期借入金の返済による支出45億円、配当金の支払額33億円、リース負債の返済による支出31億円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う当社グループにおける主要な事業の売上収益への影響や各事業の業績進捗等を勘案した結果、下記のとおり修正しております。

これらの業績への影響は、新型コロナウイルスワクチンの接種が進むことで、市場環境は緩やかな回復基調に転じるものの、経済・消費への影響は当連結会計年度末まで継続すると仮定しております。

下記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

通期の連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	売上収益	事業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	468,200	9,000	18,000	12,000	12,000	154.05
今回発表予想 (B)	447,200	6,700	18,000	12,000	12,000	154.05
増減額 (B - A)	△21,000	△2,300	—	—	—	—
増減率 (%)	△4.5%	△25.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	434,723	4,261	△15,938	△16,605	△16,071	△206.31

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,734	12,636
営業債権及びその他の債権	84,475	69,749
棚卸資産	36,001	41,249
その他の金融資産	5,459	3,253
未収法人所得税	8,755	1,428
その他の流動資産	6,128	5,499
小計	160,551	133,814
売却目的で保有する資産	278	—
流動資産合計	160,829	133,814
非流動資産		
有形固定資産	126,650	129,984
投資不動産	218,574	207,513
のれん	17,920	19,528
無形資産	9,023	9,356
持分法で会計処理されている投資	446	1,350
その他の金融資産	69,969	67,676
その他の非流動資産	6,108	5,465
繰延税金資産	6,831	6,220
非流動資産合計	455,520	447,093
資産合計	616,349	580,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	31,927	32,935
社債及び借入金	83,177	63,017
リース負債	5,836	5,889
未払法人所得税	727	7,675
その他の金融負債	38,120	36,500
その他の流動負債	56,456	43,999
流動負債合計	216,243	190,015
非流動負債		
社債及び借入金	158,091	141,116
リース負債	21,046	21,268
その他の金融負債	45,344	44,681
退職給付に係る負債	3,965	1,534
その他の非流動負債	2,832	2,554
繰延税金負債	19,277	17,885
非流動負債合計	250,555	229,039
負債合計	466,798	419,054
資本		
資本金	53,887	53,887
資本剰余金	40,853	40,647
自己株式	△1,787	△1,782
利益剰余金	33,459	43,607
その他の資本の構成要素	23,370	24,769
親会社の所有者に帰属する持分合計	149,781	161,127
非支配持分	△231	726
資本合計	149,551	161,853
負債及び資本合計	616,349	580,907

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	199,983	199,706
売上原価	140,340	140,589
売上総利益	59,643	59,118
販売費及び一般管理費	64,725	62,578
その他の営業収益	647	24,468
その他の営業費用	4,963	1,905
営業利益 (△損失)	△9,398	19,102
金融収益	630	788
金融費用	1,169	850
持分法による投資利益	8	11
税引前四半期利益 (△損失)	△9,929	19,052
法人所得税	△3,365	6,773
四半期利益 (△損失)	△6,564	12,279
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△6,429	12,341
非支配持分	△134	△62
四半期利益 (△損失)	△6,564	12,279
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△82.53	158.42
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△82.53	153.49

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益 (△損失)	△6,564	12,279
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△5,615	△966
確定給付制度の再測定	△1,029	1,345
純損益に振り替えられることのない項目合計	△6,644	379
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,367	2,917
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	△52	25
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,419	2,942
税引後その他の包括利益合計	△8,063	3,321
四半期包括利益	△14,627	15,600
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△14,451	15,633
非支配持分	△176	△33
四半期包括利益	△14,627	15,600

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計
2020年1月1日残高	53,887	40,958	△1,792	51,521	△863	△68	30,428	-	29,497
四半期利益(△損失)				△6,429					-
税引後その他の包括利益					△1,325	△52	△5,615	△1,029	△8,021
四半期包括利益	-	-	-	△6,429	△1,325	△52	△5,615	△1,029	△8,021
自己株式の取得			△1						-
自己株式の処分		0	8						-
配当				△3,277					-
支配継続子会社に対する持分変動		△2							-
株式に基づく報酬取引		△12							-
利益剰余金への振替				△1,378			348	1,029	1,378
所有者との取引額合計	-	△14	7	△4,655	-	-	348	1,029	1,378
2020年6月30日残高	53,887	40,944	△1,785	40,437	△2,188	△120	25,162	-	22,854

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	174,071	454	174,524
四半期利益(△損失)	△6,429	△134	△6,564
税引後その他の包括利益	△8,021	△42	△8,063
四半期包括利益	△14,451	△176	△14,627
自己株式の取得	△1	-	△1
自己株式の処分	8	-	8
配当	△3,277	-	△3,277
支配継続子会社に対する持分変動	△2	△1	△3
株式に基づく報酬取引	△12	-	△12
利益剰余金への振替	-	-	-
所有者との取引額合計	△3,285	△1	△3,286
2020年6月30日残高	156,336	276	156,612

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計
2021年1月1日残高	53,887	40,853	△1,787	33,459	△1,806	△40	25,215	-	23,370
四半期利益(△損失)				12,341					-
税引後その他の包括利益					2,888	25	△966	1,345	3,292
四半期包括利益	-	-	-	12,341	2,888	25	△966	1,345	3,292
自己株式の取得			△3						-
自己株式の処分		0	8						-
配当				△3,277					-
株式に基づく報酬取引		△24							-
利益剰余金への振替				903			△548	△1,345	△1,893
その他		△182		182					-
所有者との取引額合計	-	△207	5	△2,192	-	-	△548	△1,345	△1,893
2021年6月30日残高	53,887	40,647	△1,782	43,607	1,082	△15	23,701	-	24,769

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年1月1日残高	149,781	△231	149,551
四半期利益(△損失)	12,341	△62	12,279
税引後その他の包括利益	3,292	29	3,321
四半期包括利益	15,633	△33	15,600
自己株式の取得	△3	-	△3
自己株式の処分	8	-	8
配当	△3,277	△1	△3,278
株式に基づく報酬取引	△24	-	△24
利益剰余金への振替	△990	990	-
その他	-	-	-
所有者との取引額合計	△4,286	989	△3,298
2021年6月30日残高	161,127	726	161,853

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△9,929	19,052
減価償却費及び償却費	13,315	11,447
減損損失	97	378
受取利息及び受取配当金	△622	△482
支払利息	909	847
持分法による投資損益 (△は益)	△8	△11
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	129	△23,027
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	24,840	15,637
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,798	△4,096
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,784	543
未払酒税の増減額 (△は減少)	△13,645	△11,098
その他	△552	3,333
小計	8,952	12,522
利息及び配当金の受取額	647	503
利息の支払額	△852	△783
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,424	591
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,323	12,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,334	△5,339
有形固定資産の売却による収入	106	1,366
投資不動産の取得による支出	△3,191	△4,142
投資不動産の売却による収入	—	33,908
無形資産の取得による支出	△1,077	△694
投資有価証券の取得による支出	△532	△6
投資有価証券の売却による収入	133	2,074
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	—	△2,652
出資金の払込による支出	△297	△1,300
関連会社の取得による支出	—	△900
貸付けによる支出	△61	△30
貸付金の回収による収入	14	48
その他	△605	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,843	22,637

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△634	△958
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	18,000	△6,000
長期借入による収入	18,500	4,000
長期借入金の返済による支出	△13,782	△4,483
社債の償還による支出	△7	△30,007
配当金の支払額	△3,268	△3,271
リース負債の返済による支出	△3,283	△3,136
その他	7	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,532	△43,850
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	574	1,282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,586	△7,098
現金及び現金同等物の期首残高	15,215	19,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,801	12,636

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、純粋持株会社である当社の下、各事業会社が、取り扱う製品・サービス・販売市場についての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。

当社グループの報告セグメントは、主に事業会社及びその関係会社を基礎とした製品・サービス・販売市場別に構成され、「酒類事業」、「食品飲料事業」、「不動産事業」の3事業を報告セグメントとしております。

「酒類事業」は、酒類の製造・販売、各種業態の飲食店の経営等を行っております。

「食品飲料事業」は、食品・飲料水の製造・販売等を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸等を行っております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	130,375	58,059	11,469	80	199,983	—	199,983
セグメント間収益	5,457	252	1,275	0	6,984	△6,984	—
合計	135,832	58,310	12,744	81	206,967	△6,984	199,983
営業利益又は営業損失(△)	△7,771	△2,896	4,262	△4	△6,409	△2,989	△9,398

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	130,548	57,957	11,116	85	199,706	—	199,706
セグメント間収益	6,121	489	1,203	0	7,813	△7,813	—
合計	136,669	58,446	12,319	85	207,519	△7,813	199,706
営業利益又は営業損失(△)	△2,777	△964	26,027	11	22,297	△3,194	19,102

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康食品事業等を含んでおります。調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間消去取引が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。